

茅葺きの秘密基地をつくろう ～茅葺き体験～

対 象 エ リ ア	おおい町名田庄地区
日 時	平成26年5月31日（土） 13:30～16:30
開 催 場 所	奥名田児童センター（大飯郡おおい町名田庄井上16-41）
参加者（人数）	名田庄地区の住民 参加者75名
主 催	福井県
共 催	一般社団法人 福井県建築士会若狭支部
協 力	森の郷なかなた産物組合 おおい町奥名田児童センター おおい町立名田庄小学校3年生 NPO法人 森林楽校・森んこ おおい町
講 師	森の郷なかなた産物組合 組合長 中野幸男
ね ら い	<p>おおい町名田庄地区にはかつて、茅葺屋根の民家が多数あった。しかし、茅葺屋根だった建物はトタンや瓦に葺き替えられ、現在では茅葺屋根のまま残る建物は数軒にとどまっている。このままでは名田庄地区の原風景である茅葺屋根の建物がなくなってしまう。</p> <p>そこで、茅に親しんでもらい、茅葺屋根の残る里山風景について地域の方々が誇りと愛着を持ち、茅葺民家の保全活動のきっかけを作るため、茅葺の秘密基地づくりを行う。今回は、前回に刈った茅を使って子どもたちが日頃から活用できる秘密基地をつくった。</p>
プ ロ グ ラ ム	<ol style="list-style-type: none"> 1. 茅の特長について話を聞く 2. 茅葺きの手順と注意事項を聞く 3. 茅を葺いて秘密基地をつくる
準 備 物	<p>【服装】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 長袖、長ズボン ・ 履きなれた靴 ・ ゴム手袋（てのひら部分がゴムでできているものでも可） <p>【秘密基地の材料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 茅（25束） ・ 竹 ・ シュロ縄 ・ 藁縄 ・ ナイロンシート ・ 鉄筋アンカー <p>【秘密基地づくりに必要な道具】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 脚立 ・ 剪定ばさみ



前回のワークショップの時に刈った茅を乾燥させている様子。例年、5月末ごろから取り入れ作業を行う。



一般社団法人福井県建築士会若狭支部の方々に、秘密基地の骨組を事前に製作してもらった。地面は直径約2m、深さ約20cmほど掘削し、円錐状に竹で骨組を製作。高さは約2.5m。風でとばないように地面に固定した。



まず最初に、森の郷なかなかた産物組合の組合長から茅の特長について学んだ。



次に、組合長から茅の葺き方を学んだ。



講師の指導のもと、骨組に茅を一束ずつ葺いていった。



作業に慣れてくると、子どもたちだけで葺くことができた。



秘密基地の上部については、大人が茅を葺いた。



最後に頂上部や入口部をはさみで整えた。



完成した茅葺きの秘密基地の様子。



完成した茅葺きの秘密基地をバックに記念撮影をした。



完成した秘密基地を体験する子どもたち。



この体験を通じて、参加者には茅に親しんでもらうことができた。



完成を祝うために、秘密基地づくりに並行して流しそうめんの準備も行った。



竹を細工して、器や箸をつくった。



記念撮影の後に流しそうめん大会。3時間かかった作業の後のそうめんの味は格別でした。